融動生命体ユニオゥガ

無双ぱんだ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト
http://pdfnovels.net/

注意事項

このＰＤＦファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にＰＤＦ化させたものです。
この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのＰＤＦファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】
融動生命体ユニオゥガ

【Ｎコード】
Ｎ５８５０Ｏ

【作者名】
無双ぱんだ

【あらすじ】
運命とは残酷だ
時には人を巻き込んだり、
時には人を死に追いやり、
時には愛さえも裏切らせてしまう。
これは神サマが定めた、とある運命のハナシ

第1章・運命の始動（1）　謎多き時（前書き）

この物語はすべてフィクションです。
学校名、人物名は実際のものとは一切関係ありません。

第1章・運命の始動（1）　謎多き時

運命とは残酷だ。
時には人を巻き込み、
時には人を死に追いやり、
時には愛さえも裏切らせてしまう。
これは、神サマが定めたとある運命のハナシ。

春。それは、出会いの季節である。
桜舞う木の下で恋に落ちる・・・なんてシチュエーションは誰もが憧れ、羨ましがる。
「ふざけるな」
一体全体・・・ドコの誰がこんなふざけた事をするのか？
そもそも考えが曖昧すぎる。私は１６年生きてきたがいまだに「彼氏」というものをつくったことがない。

４月２２日、午前１１時２８分３９秒。和文字山高等学校という私立の学校で、
１年Ｃ組という特に何もなく普通のクラスに私は居る。
やや茶色気味の髪を後頭部上ら辺にひとつに束ねている。バストは全然大きくなく、ウエストもヒップもそこまで太くはない。世間でキュッ・キュッ・キュッと言われているやつだ。
現在行われている授業は私の苦手分野。そろそろ嫌気が差して、右手に持っているシャーペンでペン回しをしながら、左手で顔を支え外を見ている。
そしてはぁ・・・と、ため息。
高校生にもなって彼氏が出来ない・・・というのは少し・・・イヤ、絶っっ対におかしぃはずだ。

ふと時計を見ると時間はさっきから3分ほどしか進んでいなかった。
はぁ・・・と、さっきよりもいっそう重いため息が出た。

さて、ここまで来ると思うかもしれない。
「彼氏がほしいなら好きな人を見つければ？」と。
居るはずが無い。私の好みは背が高くて、文武両道でやさしくて、イケメン。
まぁよくありがちな好みだ。だが、コレだけは解っている。
そんな好みじゃいつまでたっても彼氏は出来ないと。あたりまえだ。
そんな理想的な男が居るハズないと。
ため息混じりにチャイムが鳴った。
「お、終わったぁ・・・」
背伸びをすると、立ち上がり、私は屋上へと向かった。
次の授業は体育。男子と合同でソフトボール。正直なことを言うと私は運動音痴だ。
中学のときの体育の成績は平均・・・2だ。笑ってもいい。だってコレが実力なのだから。
屋上へと続く階段を上がれば、錆付いた鉄製のドアが私と対面した。
私はこのドアが嫌いだ。
金属同士が擦れ合うといやな音が出る。このドアはさびてる上に、重いからいやな音が長く続く。
私は一瞬ためらったが、ドアを開けた。
ギィ~・・・　と金属音。最悪。鳥肌が立つ。
屋上へ出れば、春の温かい日差しと生温い風が私を包んだ。
「さぁて・・・次の授業はサボって寝ようかな」
この学校は屋上に芝生を植えている。そのため、天気がいい日はすごく寝心地がいいのだ。
寝ようとしたとき、私の目に一人の人間の寝ている姿が目に飛び込んだ。

「わぁ・・・」
背が高い。しかも、美少年といってもいいくらい格好良かった。
ずっと、じっと見つめていたい寝顔だった。
自分の顔が赤くなっているのに気づかない・・・。
ようやくはっと我に返った。

その時、何故か辺りに違和感を感じた
「な・・・なに？」
動揺を隠せない。それもそのはず。
さっきまで吹いていた生温い風は今の一瞬で消え去り、その風になびいていた芝生の動きも止まっている。
コォォォォ・・・　何かの音が聞こえる
「な・・・何なのよっ・・・」
動揺が強さを増す。脈が速くなる・・・。ふと校庭を見ると、人は動いていない・・・静止している。
ただ、自分とそこに寝ている美少年だけが動いているのだ。

時間が止まった。
瞬時に理解した。半信半疑だが。
そして、さっき聞いた音が近くなったかと思うと・・・辺りが大きな影に隠れた。
ふと頭上をみあげる。
「！？」
言葉が出ない。なぜなら・・・
いま、自分と美少年の上空には、何か巨大な物体が蠢いていたからである。

第1章・運命の始動（1）　謎多き時（後書き）

はじめまして☆▽☆））ノ
無双ぱんだ　と、申します。
へたくそな小説ですが読んでいただいたらうれしいです。
毎週金・土に更新します。
気が向いたら日も更新しますw
よろですv

ＰＤＦ小説ネット発足にあたって

ＰＤＦ小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は２００７年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にＰＤＦ形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのＰＤＦ小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能（たんのう）してください。

この小説の詳細については以下のＵＲＬをご覧ください。
http://ncode.syosetu.com/n5850o/

融動生命体ユニオゥガ

2010年10月30日05時08分発行